

現場説明書(技術的事項)

工事名 福山市立旭小学校北棟校舎外壁改修工事

1. 現場の状況

工事場所は、福山市立旭小学校敷地内です。

工事期間中は、校舎、屋内運動場・グラウンド等は使用しています。

2. 別途工事

なし

3. 留意事項

- ① 工事期間中は学校を使用しているため、事故のないよう十分注意し、職員・児童及び第三者に対する安全確保に努めてください。
- ② 現場着手日及び工事関係車両の駐車場は、施設管理者と協議し決定してください。
また、工事用車両は、通学時間帯を避けて出入りしてください。
- ③ 9月から2学期が開始するので、8月31日までに渡り廊下、給食棟の工事を完了させてください。
また、放課後児童クラブの児童利用経路等に支障がないようにしてください。
- ④ 夏休み中、個人懇談会や登校日等の学校行事の際における作業内容は、施設管理者との協議が必要です。
- ⑤ 工事中も室内換気や空調機が使用できる対策を講じてください。
学校等の状況により、改修工事の区分けでの施工や改修内容の変更が生じる場合があります。
- ⑥ 外壁劣化調査後速やかに外壁劣化調査報告書を提出し、監督員の承諾を得て改修工事を行ってください。
- ⑦ 契約後、実施工程表は14日以内に提出するとともに、施工計画書等の承諾は速やかに受けてください。
- ⑧ 既存工作物等に損傷を与えないように対策を講じてください。
なお、損傷を与えた場合には監督員及び施設管理者と協議のうえ、速やかに復旧してください。
- ⑨ はつり工事に際しては、十分な騒音・粉塵対策を講じてください。
- ⑩ 特定建設資材の再資源化に努めるとともに、産業廃棄物は適切に処理してください。
- ⑪ 工事施工上必要な官公署への手続きは、受注者の責任において速やかに行ってください。
- ⑫ 本工事の受注者は、地元企業・地場製品の活用に努めてください。
- ⑬ 北側屋外鉄骨階段の改修については、監督員と現地確認を行った上で、改修方法等を決定する。
- ⑭ 工事の施工に支障となる物品・倉庫等については、仮移動等学校と協議を行い実施してください。

4. 工事における「第20回世界バラ会議福山大会2025」ロゴの標示について

「第20回世界バラ会議福山大会2025」が2025年5月18日から24日にかけて開催されます。については、周知と機運醸成を図るため、工事現場に掲げる標識として、大会ロゴの標示のご協力をお願いします。

- 使用するロゴは「第20回世界バラ会議福山大会2025 ロゴ利用規程」に沿った指定のデザインとしてください。

- 「第20回世界パラ会議福山大会2025 ロゴ利用規程」に定められた「大会ロゴ利用許諾申請書」の提出は不要です。
- 使用する大会ロゴは「大会ロゴデザインガイド」にて配色等が定められているので留意してください。
- 大会ロゴの標示については任意事項とし、標示する際は、発注課へ必ず連絡してください。
- ロゴ標示期限は2026年（令和8年）3月31日です。
- デザインデータについては福山市建設管理部技術検査課へ問合わせてください。

福山市立旭小学校北棟校舎外壁改修工事

図面リスト	
図面番号	図名
1	図面リスト
2	外壁改修工事特記仕様書 No.1-1
3	外壁改修工事特記仕様書 No.1-2
4	外壁改修工事特記仕様書 No.2
5	外壁改修工事特記仕様書 No.3
6	仮設工事特記仕様書・附近見取図・配置図
7	1階・2階平面図
8	3階・4階平面図
9	R階・PHR階平面図
10	給食棟平面図
11	立面図
12	断面図
13	鉄骨階段④・⑤詳細図
14	付属棟詳細図

福山市建設局建築部営繕課			2024年 4月		
主務	課員	次長	課長補佐	営繕課長	建築部長

章	項目	特記事項	章	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																			
⑦ 石綿含有建材の除去及び処理	① 事前調査 <6.1.4.1>	目視及び設計図書等により、あらかじめ事前に次の事項について事前調査を行い、調査結果をとりまとめて監督員に提出するとともに、その写しを工事の現場に備え置く。また、関係法令等に基づき、官公署へ報告を行う。 (1) 使用部位の確認 (2) 種別、厚さ等の確認 (3) 使用数量の確認 (4) 施工範囲と工事管理区分の確認 ・ 石綿含有分析調査 (※ 不要 ・ 必要 (内容は下記による)) ※ 分析方法 JIS A1481-1「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による定性分析 ※ 分析必要部屋名等 (※ 図示) 分析必要箇所 (箇所)	5	石綿含有保温材等の除去 <6.4.1~6.4.4>	⑧養生用のプラスチックシート等の廃棄物は、4 2) ⑤により処理を行う。 ⑨後片付け終了後は、高性能真空掃除機で床等の清掃をする。																								
	2 石綿粉じん濃度測定 <6.1.3>	石綿粉じん濃度測定を行い、記録し監督員に報告する。 ※ 測定方法は、公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 最新版による。 測定点の取り方 (1) 処理作業前 ・ 処理作業室内 (点) ・ 施工区画周辺又は敷地境界 (2点) (2) 処理作業中 ・ 処理作業室内 (点) ※ セキュリティーゾーン入口 (点) …… 空気の流れを確認 ※ 負圧・除じん装置の排出口 (点) …… 除じん装置の性能確認 ・ 施工区画周辺又は敷地境界 (2点) (3) 処理作業後 (離隔シート撤去前) ・ 処理作業室内 (点) ・ 施工区画周辺又は敷地境界 (2点)			1) 処理を行う石綿含有保温材等の仕様及び部位 ・ 下記による ※ 図面による <table border="1"> <thead> <tr> <th>石綿含有保温材等の仕様</th> <th>使用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> </tbody> </table>	石綿含有保温材等の仕様	使用部位	・	・	・	・	・	・	・	・														
	石綿含有保温材等の仕様	使用部位																											
	・	・																											
・	・																												
・	・																												
・	・																												
3 除去工事共通事項 <6.2.1~6.2.9>	1) 専門事業者 石綿含有吹付け材の除去を直接行う専門事業者については、工事に相応した技術を有することを証明する資料を監督員に提出すること。 2) 作業主任者及び特別管理産業廃棄物管理責任者 ①石綿作業主任者技術講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を修了した者のうちから、石綿作業主任者を選任し、管理させること。 ②排出事業者は、石綿含有吹付け材、石綿含有保温材等の除去工事で、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を選任し管理させること。 3) 除去作業者 石綿含有建材の除去に従事する作業者(以下「除去作業者」という。)は、石綿障害予防規則(平成17年厚生労働省令第21号、以下「石綿則」という。)に基づく特別の教育を受けた者とする。また、除去作業者は、一般健康診断、石綿健康診断、じん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常がない者とする。 4) 施工計画書 施工に先立ち、処理工事に伴う石綿粉じんの飛散防止対策を盛り込んだ施工計画書を施工調査等の結果に基づき作成し、監督員の承認を受けること。 5) 表示及び掲示 ①関係者以外立ち入り禁止、喫煙・飲食の禁止、石綿除去作業中等の表示を行う。 ②石綿の有害性、取扱い上の注意事項、使用すべき保護具の掲示を行う。 ③「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ(労働基準監督署への届出内容、粉じん飛散抑制措置、ばく露防止措置等)」を周辺住民の見やすい場所に掲示する。 6) 保護具・保護衣 ①作業者は、作業内容に応じた呼吸用保護具、保護めがねを使用するとともに粉じんが付着しにくく、服内部に侵入しにくい保護衣又は作業衣を着用する。 ②監督員の現場作業の立入確認のため、保護具、保護衣を一式現場に備える。 7) 官公署その他への手続き ①労働安全衛生法の吹付け石綿除去作業の工事計画書(労働基準監督署) ②「石綿則」第5条第1項の規定による作業届(労働基準監督署) ③大気汚染防止法の特定粉じん排出等作業実施届(都道府県知事) ④その他、各自治体の条例又は要綱等により義務付けられている届出(特別管理産業廃棄物管理責任者設置報告書等) 8) 適用基準等 ※「建設・解体工事に伴うアスベスト廃棄物処理に関する技術指針・同解説」	⑥	石綿含有成形板等の除去 <6.5.1~6.5.4>	1) 処理を行う石綿含有成形板等の仕様及び部位 ・ 下記による ※ 図面による <table border="1"> <thead> <tr> <th>石綿含有成形板等の仕様</th> <th>使用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・シーリング</td> <td>・ 建具周囲</td> </tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> </tbody> </table>	石綿含有成形板等の仕様	使用部位	・シーリング	・ 建具周囲	・	・	・	・	・	・															
石綿含有成形板等の仕様	使用部位																												
・シーリング	・ 建具周囲																												
・	・																												
・	・																												
・	・																												
4 石綿含有吹付け材の除去 <6.3.1~6.3.4>	1) 処理を行う石綿含有吹付け材の仕様及び部位 ※ 図面による ・ 下記による <table border="1"> <thead> <tr> <th>石綿含有吹付け材の仕様</th> <th>使用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> </tbody> </table>	石綿含有吹付け材の仕様	使用部位	・	・	・	・	・	・	・	・	7	石綿含有仕上塗材(下地調整塗材含む)の除去	1) 処理を行う石綿含有仕上塗材(下地調整塗材含む)の仕様及び部位 ・ 下記による ※ 図面による <table border="1"> <thead> <tr> <th>石綿含有仕上塗材の仕様</th> <th>使用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> </tbody> </table>	石綿含有仕上塗材の仕様	使用部位	・	・	・	・	・	・	・	・					
石綿含有吹付け材の仕様	使用部位																												
・	・																												
・	・																												
・	・																												
・	・																												
石綿含有仕上塗材の仕様	使用部位																												
・	・																												
・	・																												
・	・																												
・	・																												



名称		A 表面劣化部処理				B ひび割れ部処理				C 鋼鉄筋部処理				D 浮き部処理			
記号・仕様		A-1 打放し面表面劣化部処理 [サンダー工法]		A-2 モルタル面表面劣化部処理 [サンダー工法]		B-1 打放し面樹脂注入工法 [標仕4. 2. 5] ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm		B-2 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4. 2. 6] ひび割れ幅 1. 0mm超		B-3 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4. 2. 6] ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm		B-4 モルタル面樹脂注入工法 [標仕4. 3. 6] ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm		B-5 モルタル面躯体部樹脂注入工法 [標仕4. 3. 6] ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm			
改修前	改修後																
工程		①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (・全面 ・部分) ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)		①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (・全面 ・部分) ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)		①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)		①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し (ポリマーセメントモルタル) ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)		①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③可とう性エポキシ樹脂充てん後付けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)		①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)		①ひび割れ部モルタルカッター切り ②モルタル除去 ③ひび割れ部シール ④エポキシ樹脂注入 ⑤埋戻し ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)			
		設計数量: m ²		校舎設計数量: 102 m ²		設計数量: ひび割れ幅 0. 2~0. 5mm () m ひび割れ幅 0. 5~1. 0mm () m () 内は準動ひび割れ数量を示す		設計数量: m		設計数量: m		設計数量: ひび割れ幅 0. 2~0. 5mm () m ひび割れ幅 0. 5~1. 0mm () m () 内は準動ひび割れ数量を示す		設計数量: m			
名称		B ひび割れ部処理				C 鋼鉄筋部処理				D 浮き部処理							
記号・仕様		B-6 モルタル面Uカットシール材充てん工法 ひび割れ幅 1. 0mm超		B-7 モルタル面Uカットエポキシ樹脂充てん工法 ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm		C-1 打放し面鋼鉄筋部処理		C-2 モルタル面鋼鉄筋部処理		D-1 モルタル面はつり							
改修前	改修後																
工程		①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し (ポリマーセメントモルタル) ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)		①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③可とう性エポキシ樹脂充てん後付けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)		①鋼鉄筋周囲のはつり ②鋼落とし ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ④防錆処理 ⑤はつり部埋戻し整形 ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)		①カッター縁切り (C-3) ②鋼落とし ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ④防錆処理 ⑤はつり部埋戻し整形 ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)		①カッター縁切り (C-3) ②浮き部はつり ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ④はつり部埋戻し整形 ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)							
		※A-2工法を行う場合は、②、⑤の工程はA-2工法に含む。		※A-2工法を行う場合は、②、④の工程はA-2工法に含む。		※A-2工法を行う場合は、③、⑥の工程はA-2工法に含む。		※A-2工法を行う場合は、④、⑦の工程はA-2工法に含む。		※A-2工法を行う場合は、③、⑤の工程はA-2工法に含む。							
		校舎設計数量: 116 m		設計数量: m		校舎設計数量: 148 m		設計数量: m		校舎設計数量: 5. 3 m ²							
名称		D 浮き部処理															
記号・仕様		D-2 モルタル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 11] D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 9]		D-3 モルタル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 12] D-3' タイル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 10]													
改修前	改修後																
工程		①穿孔 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ③エポキシ樹脂注入 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ④ステンレスピン挿入 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ⑥サンダーケレン 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm) 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 ※D-2' 工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程は含まない。		①一般部標準グリッド (250×250) (指定部以外の部分) ②指定部標準グリッド (200×200) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等) ③嵌幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所) ④アンカーピン固定部 ⑤注入口穿孔 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑥孔内エアークリーニング 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑦球状樹脂注入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑧ステンレスピン挿入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑨穿孔跡埋戻し [球状樹脂] 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑩セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm) 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ※A-2工法を行う場合は、⑨、⑩、⑪の工程はA-2工法に含む。													
		校舎設計数量: ①一般部: [669]m ² ②指定部: 81. 6 m ² ③嵌幅部: 163 m		設計数量: ①一般部: m ² ②指定部: m ² ③嵌幅部: m													
名称		D 浮き部処理															
記号・仕様		D-4 モルタル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 3. 13] D-4' タイル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 4. 11]		D-5 モルタル面注入付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 14] D-5' タイル面注入付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 12]													
改修前	改修後																
工程		①ピン固定部穿孔 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ③球状樹脂注入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ④ステンレスピン挿入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し [球状樹脂] 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑥注入口穿孔 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑧球状樹脂注入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑨穿孔跡埋戻し [球状樹脂] 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑩サンダーケレン 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm) 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。		①一般部標準グリッド (330×330) (指定部以外の部分) ②指定部標準グリッド (250×250) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等) ③嵌幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所) ④注入口付アンカーピン固定部 ⑤穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑥孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑦ステンレスピン (注入口付) 挿入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑧エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑩サンダーケレン 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm) 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。 ※D-5' 工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程は含まない。													
		校舎設計数量: ①一般部: m ² ②指定部: m ² ③嵌幅部: m		設計数量: ①一般部: m ² ②指定部: m ² ③嵌幅部: m													

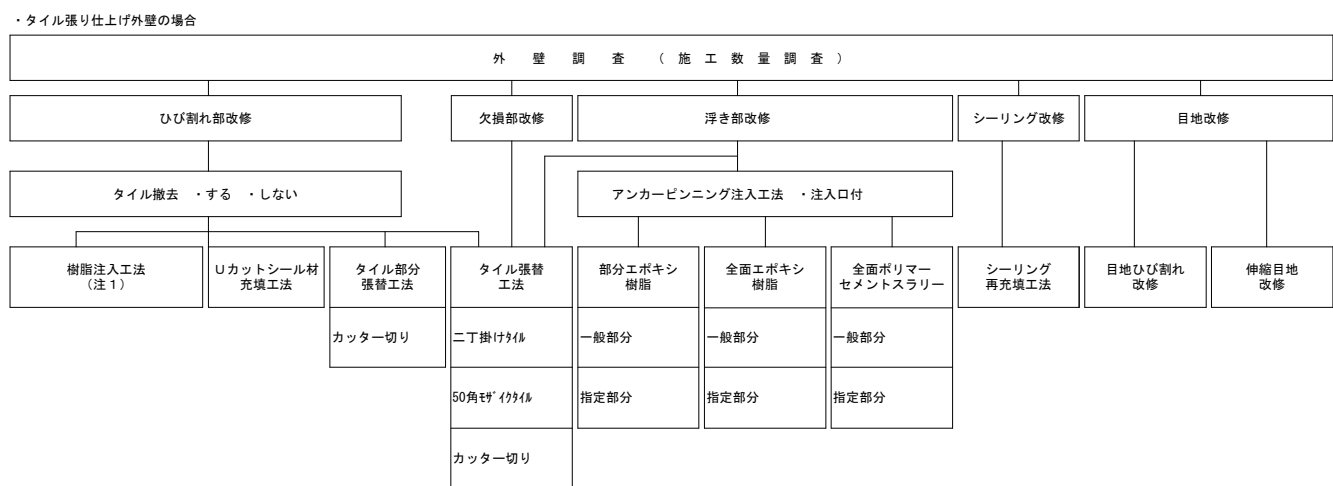
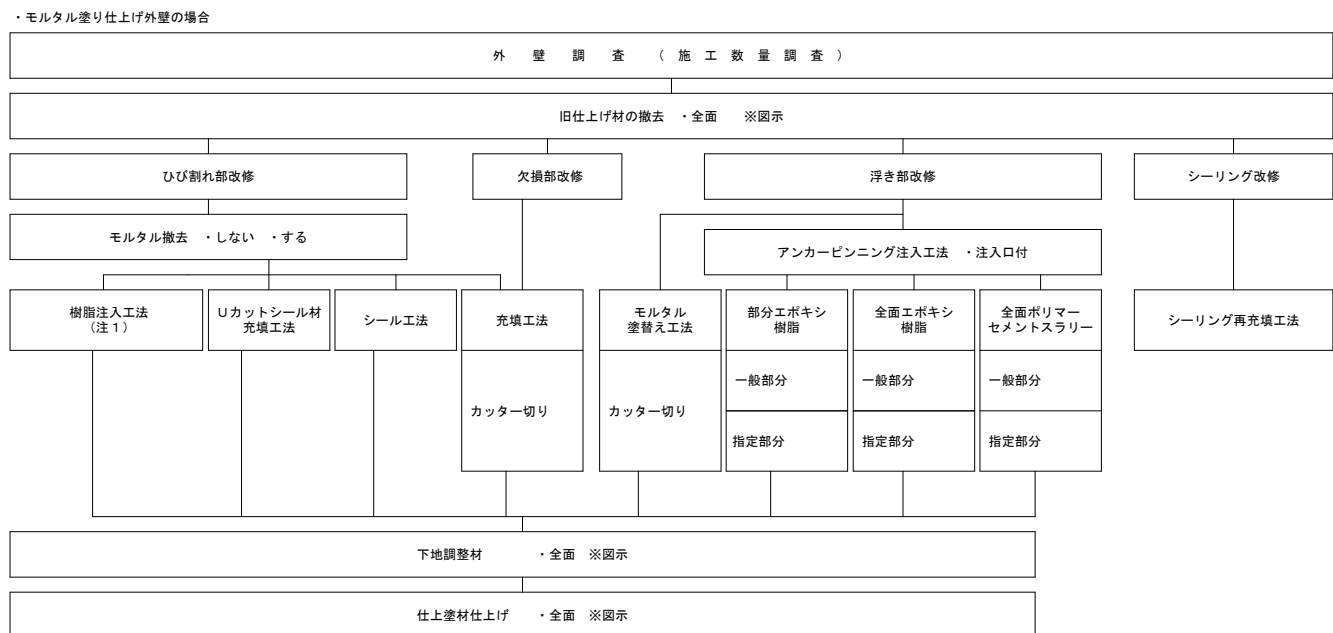
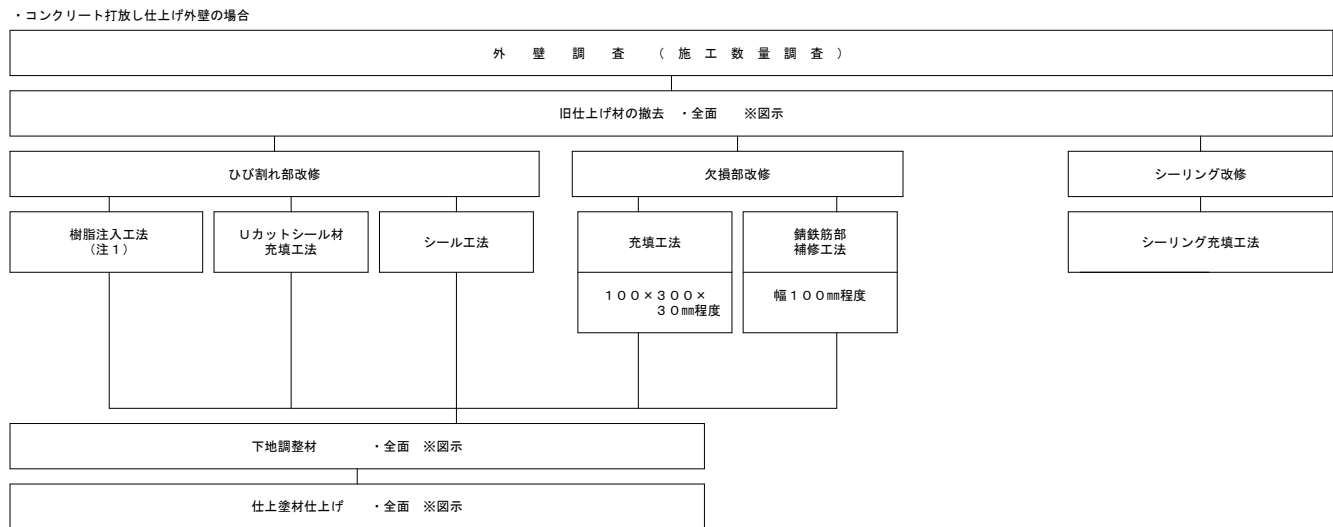


福山市建設局建築部営繕課
設計 2024年4月

工事名称 福山市立旭小中学校北棟校舎外壁改修工事
図面名称 外壁改修工事特記仕様書 No.2

名称		D 浮き部処理	
記号・仕様	D-6 モルタル面注入付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 15] D-6' タイル面注入付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 13]		
改修前		改修後	
工程	<p>①ピン固定部穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>③ステンレスピン（注入付）挿入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>④エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑥注入部穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑦孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑧エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑩サンダーケレン ⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※D-6' 工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程は含まない。 ※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む</p> <p>設計数量：①一般部分：㎡ ②指定部分：㎡ ③破損部：m</p>	<p>①一般部分標準グリッド (165×165) (指定部以外の部分)</p> <p>②指定部分標準グリッド (125×125) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅部分等)</p> <p>③破損部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅狭い箇所)</p> <p>④注入部穿孔 (注1)</p> <p>⑤注入部</p> <p>⑥注入部アンカーピン固定部</p>	
名称		D 浮き部処理	
記号・仕様	D-7 モルタル面注入付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 3. 16] D-7' タイル面注入付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 4. 14] ※標準グリッド等は、D-6、D-6' と同じ	D-8 タイル面注入付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法 (小口タイル以上) [標仕4. 4. 15]	
改修前		改修後	
工程	<p>①ピン固定部穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>③ステンレスピン（注入付）挿入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>④ポリマーセメントスラリー注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑤穿孔跡埋戻し [※'97-セメントパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑥注入部穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑦孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑧ポリマーセメントスラリー注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑨穿孔跡埋戻し [※'97-セメントパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑩サンダーケレン ⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※D-7' 工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程は含まない。 ※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む</p> <p>設計数量：①一般部分：㎡ ②指定部分：㎡ ③破損部：m</p>	<p>①穿孔</p> <p>②孔内エアークリーニング</p> <p>③ステンレスピン（注入付）挿入</p> <p>④エポキシ樹脂注入</p> <p>⑤穿孔跡埋戻し [化粧キャップもしくは調色樹脂パテ]</p>	
名称		E 欠損部処理	
記号・仕様	E-1 打放し面充填工法 [標仕4. 2. 8]	E-2 打放し面欠損部処理 [標仕4. 2. 3]	E-3 モルタル面欠損部処理 [標仕4. 3. 3]
改修前		改修後	
工程	<p>①欠損部はつり等での整形</p> <p>②高圧水洗浄 (150~200kg/cm²)</p> <p>③欠損部はつり部埋戻し [※'97-セメントパテ又は※'97-セメントパテ]</p> <p>④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※A-1工法を行う場合、②、④の工程はA-1工法に含む</p> <p>仮設計数量：㎡</p>	<p>①欠損部、錆跡周辺はつり等での整形</p> <p>②錆落とし</p> <p>③高圧水洗浄 (150~200kg/cm²)</p> <p>④防錆処理</p> <p>⑤欠損部はつり部埋戻し [※'97-セメントパテ又は※'97-セメントパテ]</p> <p>⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※A-1工法を行う場合、③、⑥の工程はA-1工法に含む</p> <p>設計数量：㎡</p>	<p>①カッター縦切り (C-3)</p> <p>②欠損部はつり等での整形</p> <p>③高圧水洗浄 (150~200kg/cm²)</p> <p>④欠損部はつり部埋戻し [※'97-セメントパテ又は※'97-セメントパテ]</p> <p>⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) (鉄筋の露出部がある場合はE-2による)</p> <p>※A-2工法を行う場合、③、⑤の工程はA-2工法に含む</p> <p>設計数量：7.3㎡</p>
名称		F 外壁複合改修工法	
記号・仕様	F 外壁複合改修工法		
改修前			
改修後			
工程	<p>下地補修後</p> <p>①プライマー塗布</p> <p>②ポリマーベスト中塗り</p> <p>③三軸ネット張り</p> <p>④ワッシャー付アンカーピン打ち込み</p> <p>⑤ポリマーベスト中塗り</p> <p>⑥アルミ水切り取付け (L30×15×2.0 ステンレスビス止φ450)</p> <p>⑦シーリング打設 (MS-2)</p>		
		南棟校舎	設計数量
		ネット張り	293㎡
		水切	105㎡

外壁改修フロー図



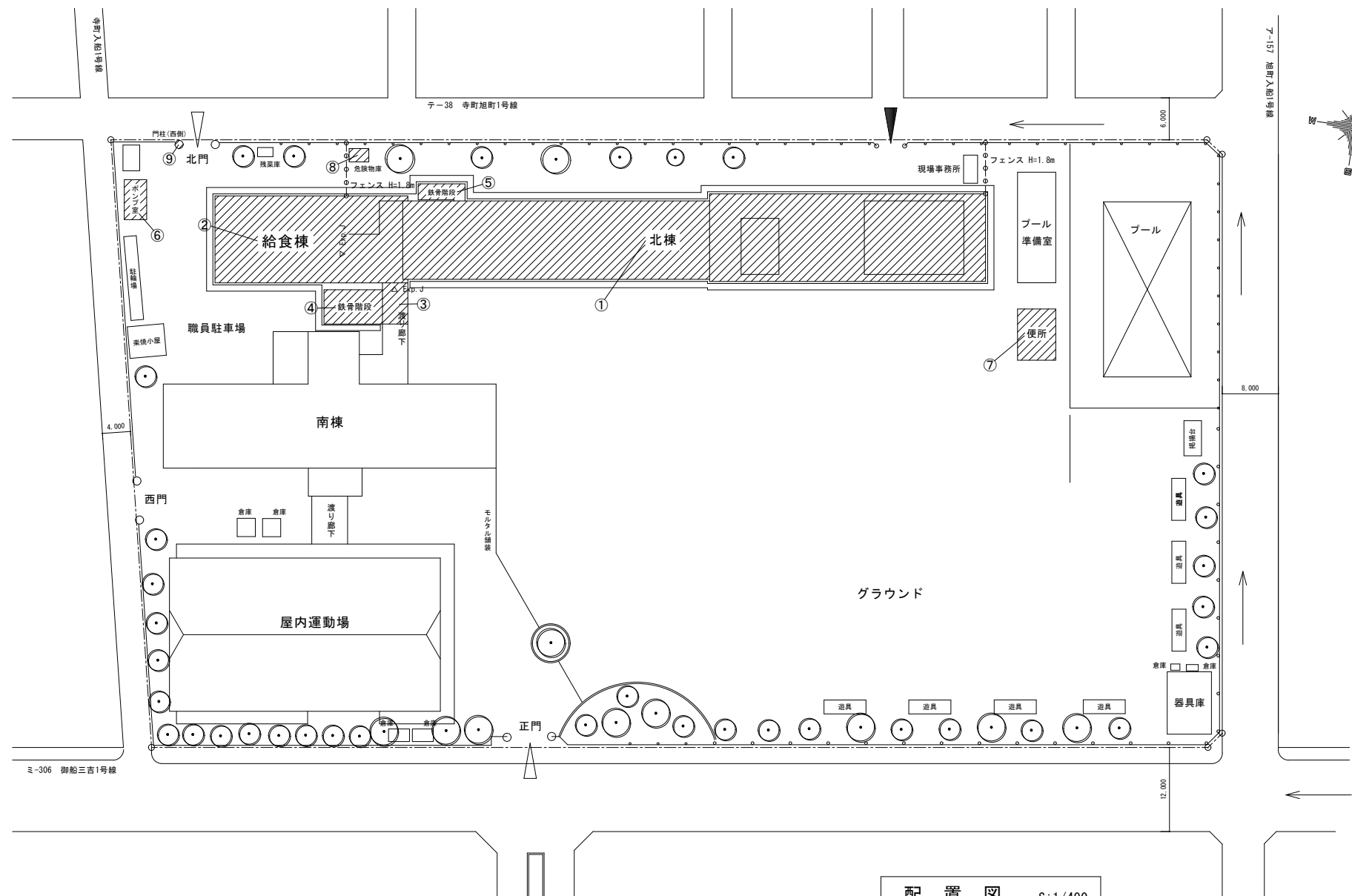
(注1) 樹脂注入工法の種類を示す

南棟校舎	設計数量	293㎡
ネット張り	水切	105㎡



附近見取図 S=NoScale

工事場所：福山市立旭小学校北棟校舎
福山市入舟町一丁目2番1号



配置図 S:1/400

仮設工事特記仕様書

- ① 工事車両出入り口・機器・資材搬入口は北東出入口とする。
- ② 工事車両出入口：キャスターゲート程度とし、通行時のみ開放する。
- ③ 施工者が必要と判断した場合には出入り口前に鉄板・合板パネル等を敷いて養生する。
- ④ 改修建物の周囲にある雨水排水施設を壊さないように注意する。(既設建物を傷めた場合には復旧する。)
- ⑤ 児童の移動が集中する時間帯(登下校時等)は重機、資材の搬入を避ける。
- ⑥ 車両通行部は地均し復旧を行う。
- ⑦ 配置図に記載された仮設等については、発注者の考え方を示したものであって、実際の施工に於いては事前に詳細な調査・検討を行い、より安全な施工に努める。
- ⑧ 仮設計画をたてる前に、学校関係者及び監督員と十分協議する。
- ⑨ 仮設計画は監督員の承諾を得る。
- ⑩ 仮設足場(先行足場、階段共)には、養生シートを張り埃等の飛散を防ぐこと。
- ⑪ 児童及び第三者が、工事エリアに入れないように、1段目には金網を設置し、施錠付きの出入り口を設けること。
- ⑫ 昇降所等の建物出入り口には、落下防止対策を講ずること。
- ⑬ 足場解体後は、現状復旧すること。
- ⑭ エアコンは、使用できるように室外機を養生すること。

工事建物等

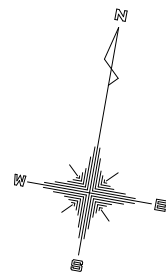
- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> ① 北棟校舎 ② 給食棟 ③ 渡り廊下 ④ 南側鉄骨階段 ⑤ 北側鉄骨階段 ⑥ ポンプ室 ⑦ 便所 ⑧ 危険物庫 ⑨ 北西部門柱(西側) | <p>工事内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外壁劣化改修 ・屋上シート防水 ・バルコニー、底部等塗膜防水 ・樋取替え ・バルコニー、屋上、屋外階段の手摺
及び耐震ブレース等の鉄部DP塗装 ・外壁劣化改修 ・屋上シート防水 ・樋取替え ・屋根DP塗装 ・鉄部DP塗装 ・劣化改修 ・鉄部DP塗装 ・屋上塗膜防水 ・軒裏劣化改修 ・屋上塗膜防水 ・軒裏劣化改修 ・屋上塗膜防水 ・劣化改修 |
|--|--|

■ 凡例

	工事対象建物等 (①~⑧)
	工事車両出入口
	一般車両出入口
	工事車両進入経路
	仮囲い 成形鋼板 H=2000
	キャスターゲート W=6000 H=1800

※ 学校敷地内に現場事務所設置予定ですが、場所・スペース等は受注者の決定後、学校と相談のうえで決定します。

A1: 100%
A3: 50%



工事符号及び工事内容	記号	改修内容
外壁部		外壁劣化改修の上、複層塗材E塗り(軒裏等 外装薄塗材E吹付け)(底部含む) 外部建具-躯体取合部、目地部 変成シリコーン系シーリング(MS-2)打替 縦樋撤去(金具共)の上、縦樋取付 ｶﾞｰｰVP100φ・75φ(SUS金具共)
小庇 各天端		既 存: 防水モルタル現し 改修内容: 高圧洗浄、クラック処理、下地処理(目地埋め含む)の上、ｸﾘｰﾝ塗膜防水(X-2工法) ※バルコニー 防汚仕上げ
給食棟 R階 校舎棟 R階		既 存: 合成高分子ﾒｰﾌﾞﾝｸﾞｼｰﾄ防水 改修内容: 平場部 シｰﾄ防水 塩化ﾋﾞｰﾂ系 t=1.5mm S-M2(機械的固定工法) 立上り、溝部 既存ｼｰﾄ防水撤去後、下地調整(ｶﾞｰｰｰﾝﾄﾞ) ｼｰﾄ防水 塩化ﾋﾞｰﾂ系 t=2.0mm S-M2(接着工法) 脱気筒(SUS)、端部金物押え(7ø: L45×60×1.5 ﾗｰｰﾝｸﾞ共) 7ø、排気管、手すり支柱、PH部金物押え(7ø: L10×30×1.5 ﾗｰｰﾝｸﾞ共)

北側鉄骨階段：劣化改修，DP塗装

屋外階段手摺部：DP塗装

2階平面図 S:1/150

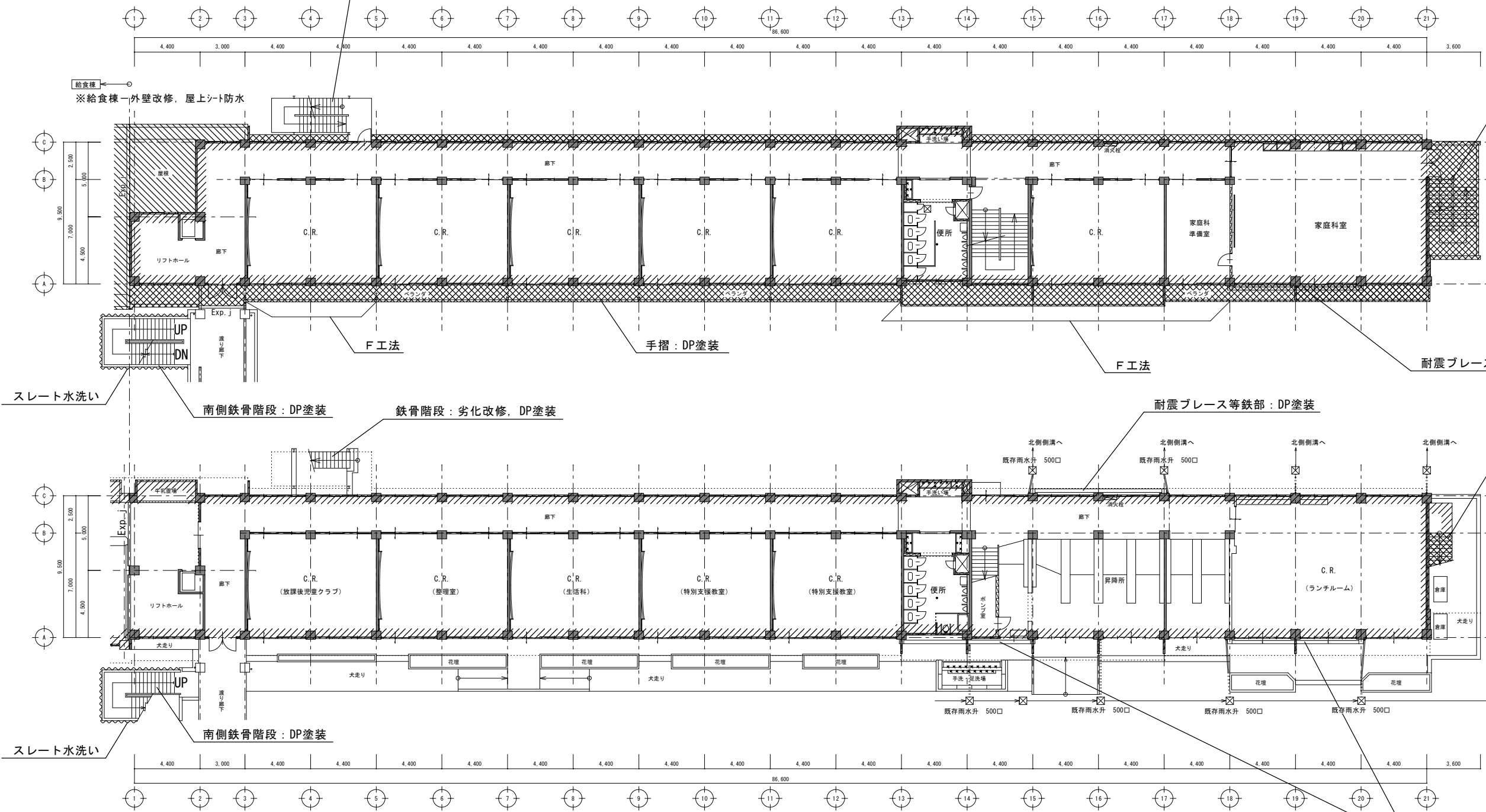
耐震ブレース等鉄部：DP塗装

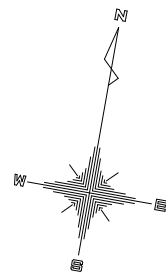
耐震ブレース等鉄部：DP塗装

屋外階段手摺部：DP塗装

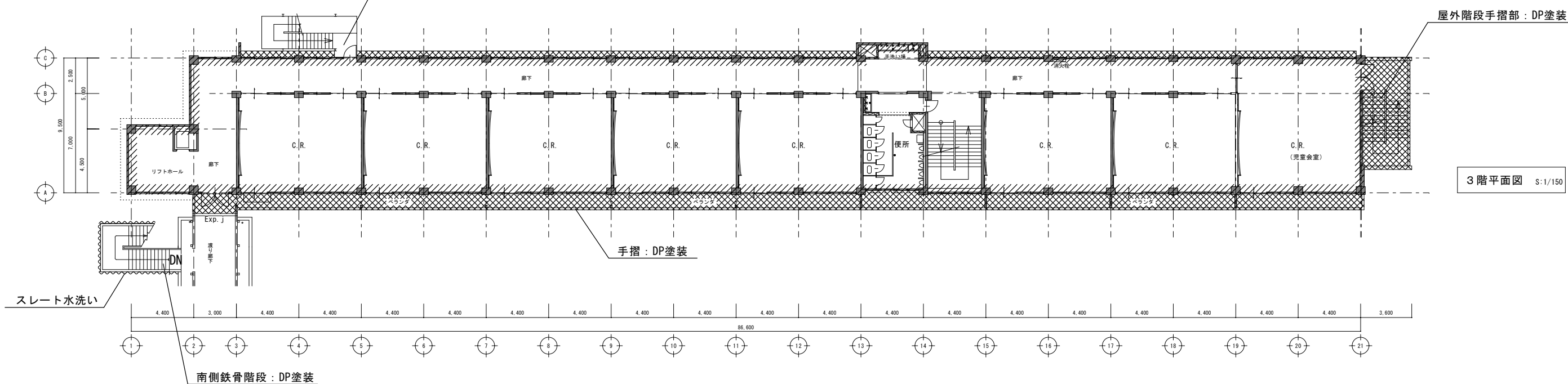
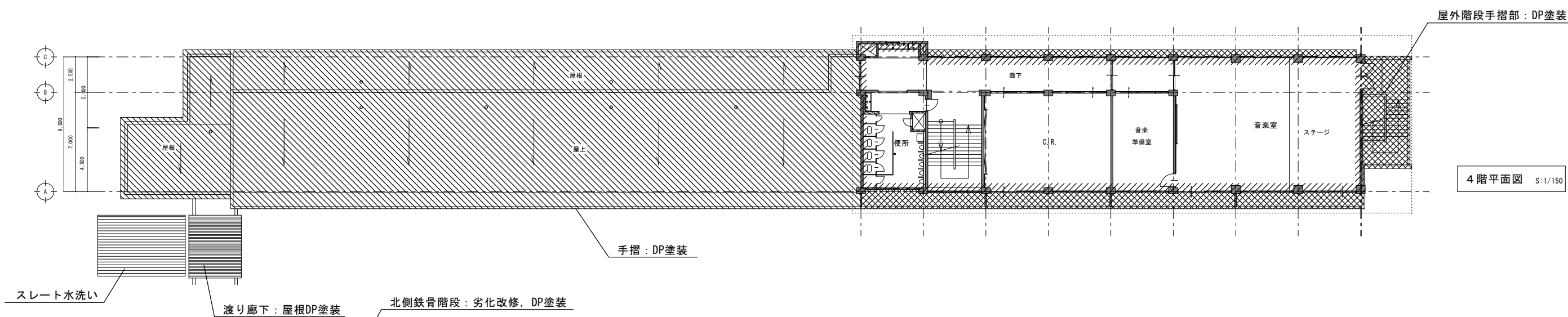
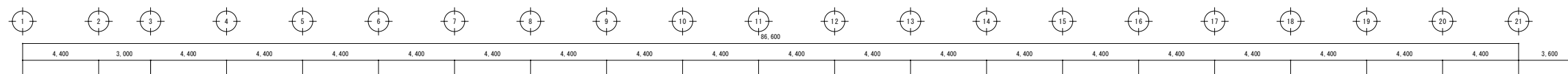
1階平面図 S:1/150

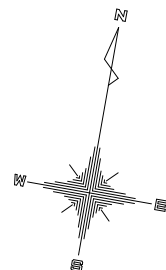
耐震ブレース等鉄部：DP塗装



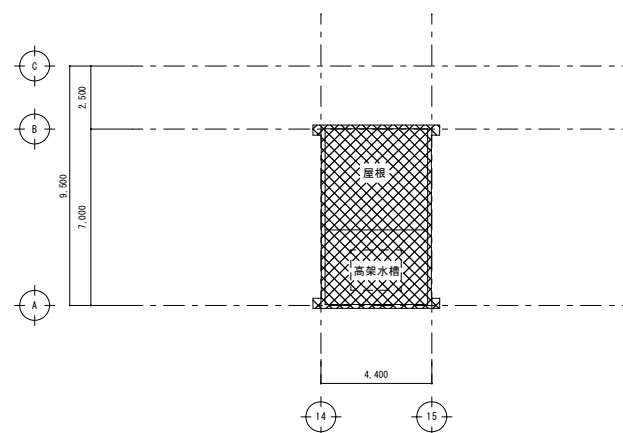


工事符号及び工事内容	記号	改修内容
外壁部		外壁劣化改修の上、複層塗材E塗(軒裏等 外装薄塗材E吹付け)(底部含む) 外部建具-躯体取合部、目地部 変成シリコーン系シーリング(MS-2)打替 縦樋撤去(金具共)の上、縦樋取付 ｶﾞｰｰVP100φ・75φ(SUS金具共)
小庇 各天端		既 存: 防水モルタル現し 改修内容: 高圧洗浄、クラック処理、下地処理(目地埋め含む)の上、ｸﾞﾗﾝﾄﾞ塗膜防水(X-2工法) ※バルコニー 防汚仕上げ
給食棟 R階 校舎棟 R階		既 存: 合成高分子ﾈｰﾌﾟﾝｼｰﾄﾞ防水 改修内容: 平場部 シｰﾄﾞ防水 塩化ﾋﾞｰﾈ系 t=1.5mm S-M2(機械的固定工法) 立上り、溝部 既存ｼｰﾄﾞ防水撤去後、下地調整(ｶﾞｰｰｰｰﾝﾄﾞ)、 ｼｰﾄﾞ防水 塩化ﾋﾞｰﾈ系 t=2.0mm S-M2(接着工法) 脱気筒(SUS)、端部金物押え(7â: L45×60×1.5 ﾘｰﾝｸﾞ共) 7â, 排気槽、手すり控柱、PH部金物押え(7â: L10×30×1.5 ﾘｰﾝｸﾞ共)

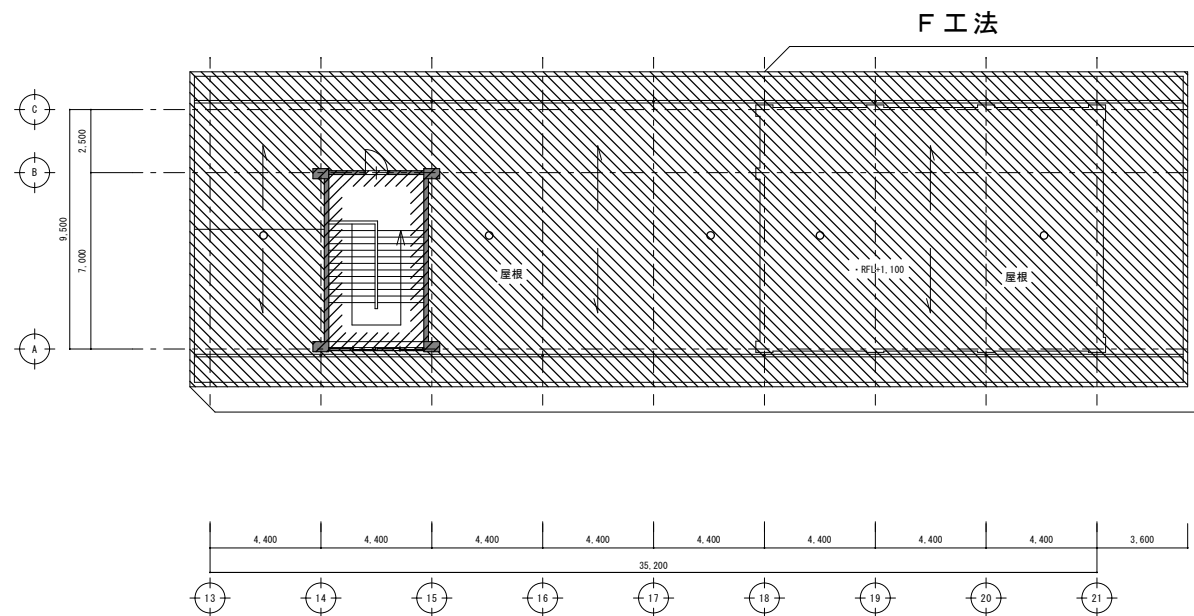




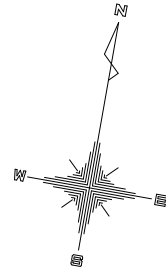
工事符号及び工事内容		
施工範囲	記号	改修内容
	外壁部	外壁劣化改修の上、複層塗材E塗(軒裏等 外装薄塗材E吹付け)(底部含む) 外部建具-躯体取合部、目地部 変成シリコン系シーリング(MS-2)打替 壁補修(金具共)の上、壁補修付 ｶﾞｰｰVP100φ・75φ(SUS金具共)
	小庇 各天端	既 存: 防水モルタル現し 改修内容: 高圧洗浄、クラック処理、下地処理(目地埋め含む)の上、ｸﾘｯｸ塗膜防水(X-2工法) ※バルコニー 防汚仕上げ
	給食棟 R階 校舎棟 R階	既 存: 合成高分子ﾈｰﾌﾟﾝｼｰﾄ防水 改修内容: 平場部 シｰﾄ防水 塩化ﾋﾞｰﾙ系 t=1.5mm S-M2(機械的固定工法) 立上り、溝部 既存ｼｰﾄ防水撤去後、下地調整(ｶﾞｰｰｰﾝﾄﾞ)、 ｼｰﾄ防水 塩化ﾋﾞｰﾙ系 t=2.0mm S-M2(接着工法) 脱気筒(SUS)、端部金物押え(7ﾙ: L45×60×1.5 シｰﾘﾝｸﾞ 共) 7ｺ、排気塔、手すり控柱、PH部金物押え(7ﾙ: L10×30×1.5 シｰﾘﾝｸﾞ 共)



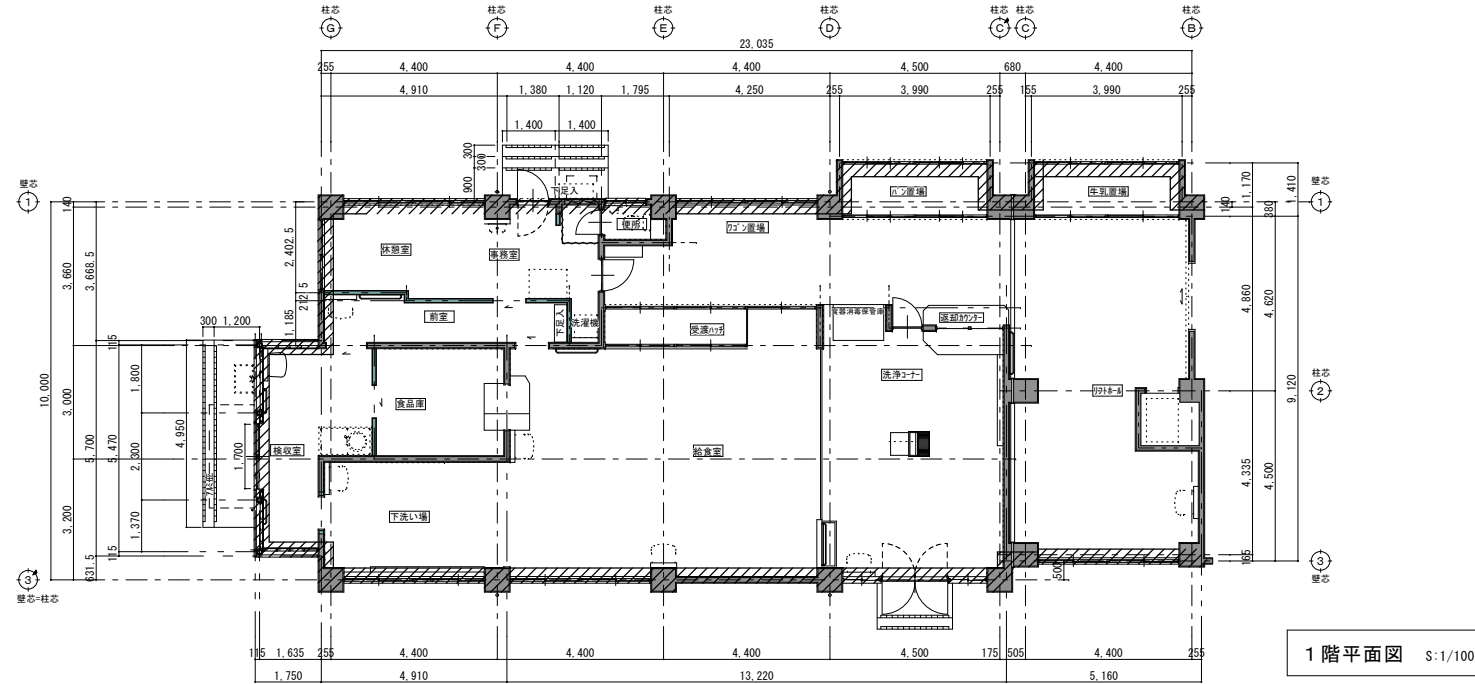
PHR階平面図 S:1/150



R階平面図 S:1/150

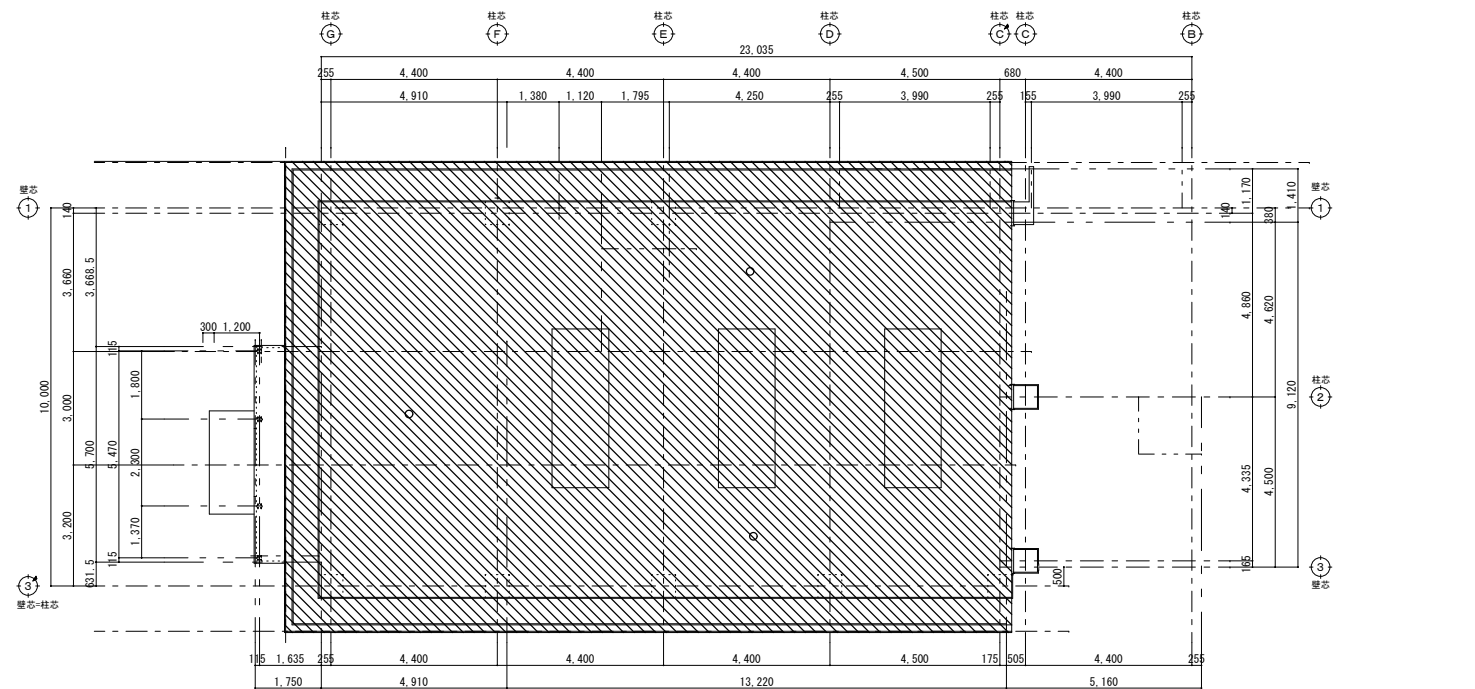


給食棟
※給食棟-外壁改修, 屋上シート防水

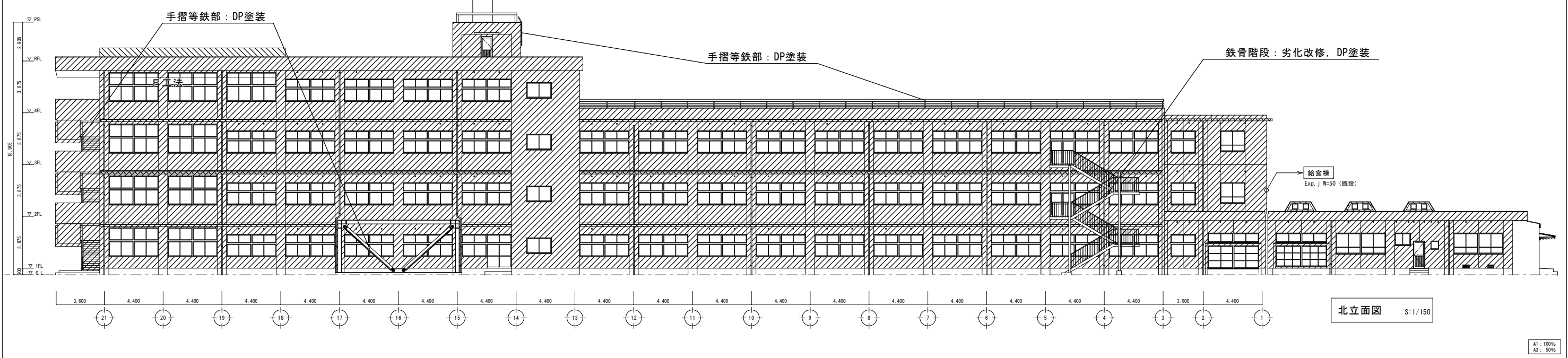
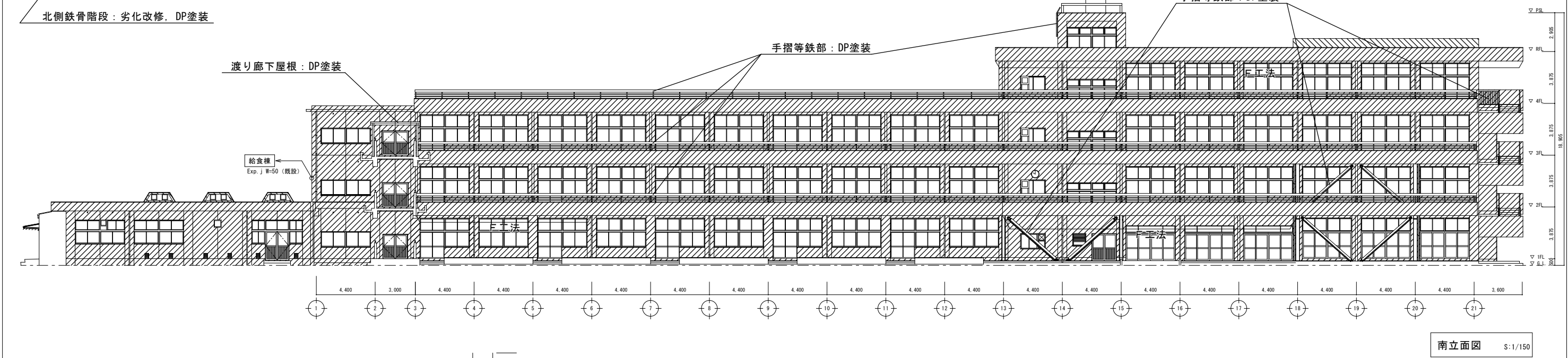
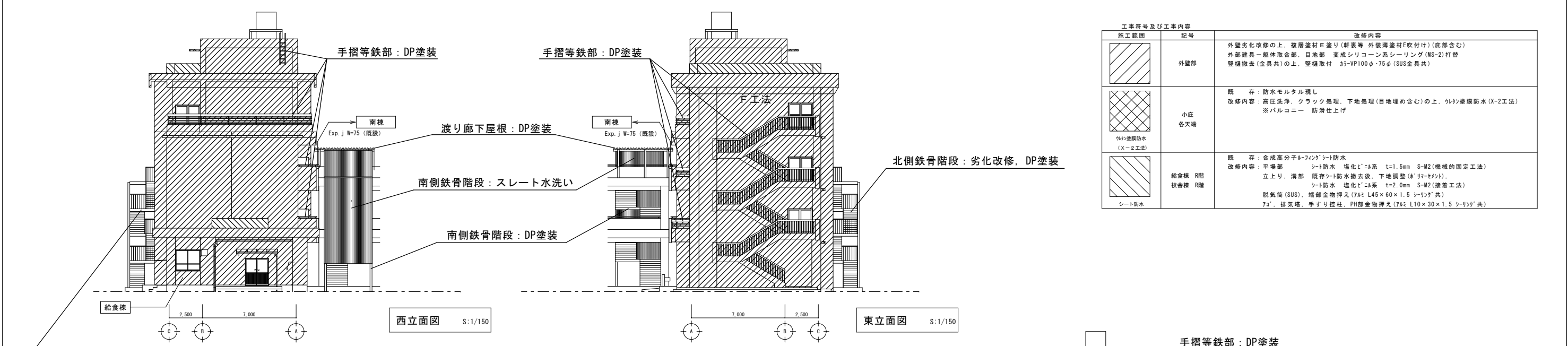


工事符号及び工事内容		
施工範囲	記号	改修内容
	外壁部	外壁劣化改修の上, 複層塗材E塗(軒裏等 外装薄塗材E吹付け)(底部含む) 外部建具-躯体取合部, 目地部 変成シリコン系シーリング(MS-2)打替 壁補修(金具共)の上, 壁補修付 ｶﾞｰｰVP100φ・75φ (SUS金具共)
	小庇 各天端	既 存: 防水モルタル現し 改修内容: 高圧洗浄, クラック処理, 下地処理(目地埋め含む)の上, ｸﾞﾗｰｰ塗膜防水(X-2工法) ※バルコニー 防汚仕上げ
	給食棟 R階 校舎棟 R階	既 存: 合成高分子ﾒｰｰﾝｼｰｰﾄ防水 改修内容: 平場部 シｰｰﾄ防水 塩化ﾒｰｰ系 t=1.5mm S-M2(機械的固定工法) 立上り, 溝部 既存ｼｰｰﾄ防水撤去後, 下地調整(ｶﾞｰｰｰﾝｼｰｰﾄ), ｼｰｰﾄ防水 塩化ﾒｰｰ系 t=2.0mm S-M2(接着工法) 脱気筒(SUS), 端部金物押え(7&: L45×60×1.5 シｰｰﾘﾝｸﾞ共) 7&, 排気管, 手すり支柱, PH部金物押え(7&: L10×30×1.5 シｰｰﾘﾝｸﾞ共)

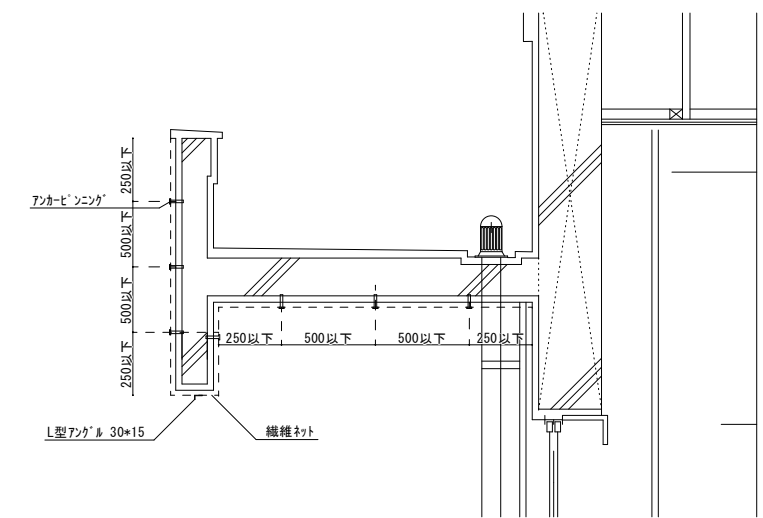
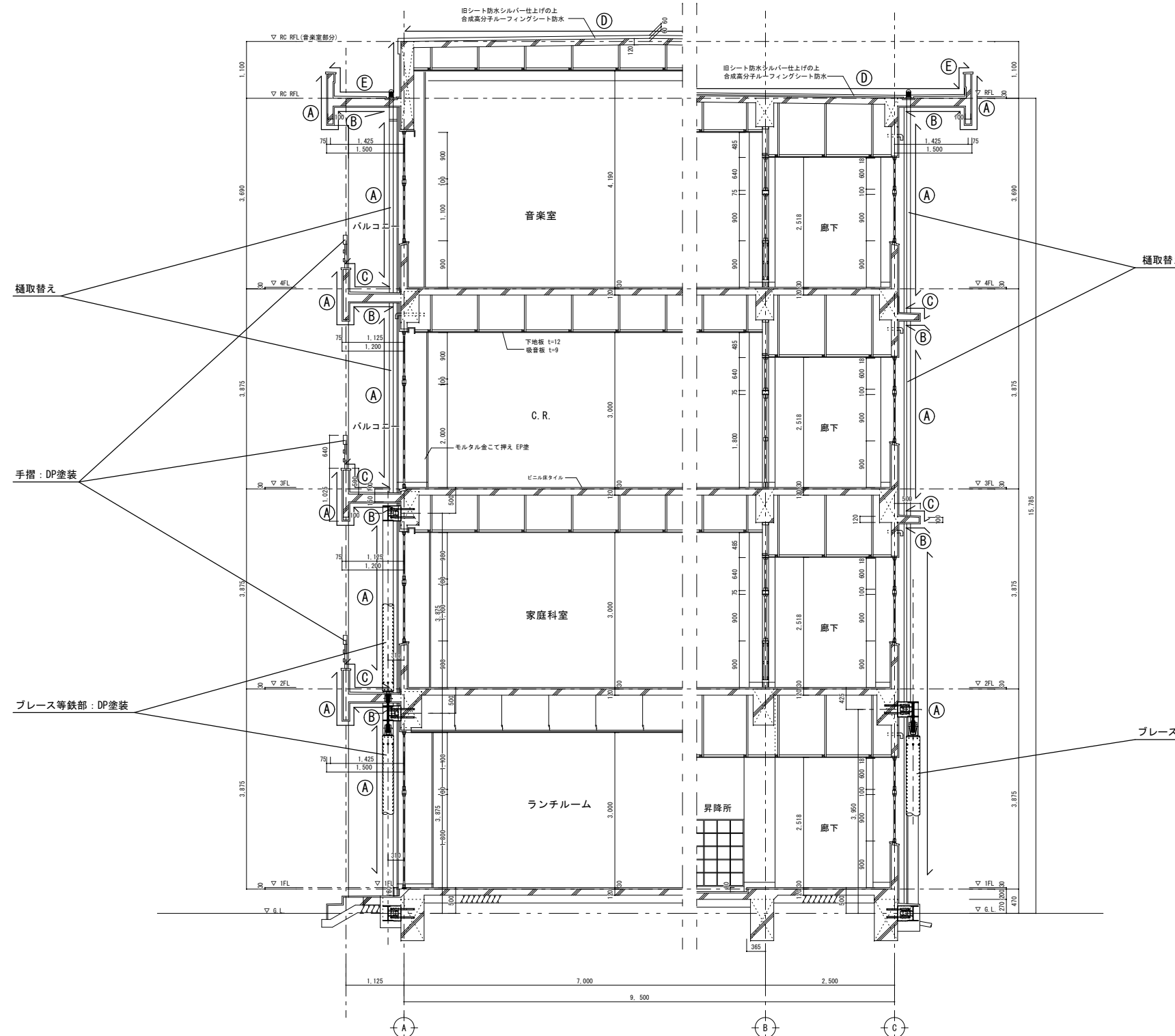
1階平面図 S:1/100



1階平面図 S:1/100



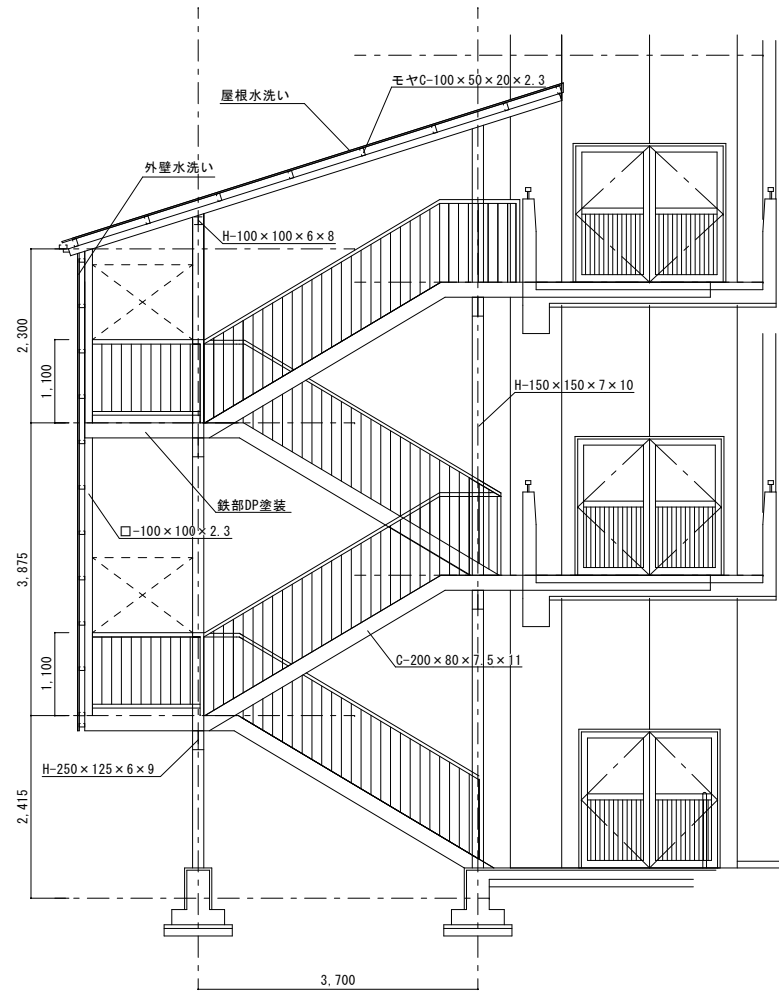
記号	仕上げ	改修内容
Ⓐ	複層塗材E	外壁劣化改修の上、複層塗材E塗り
Ⓑ	外装薄塗材E	外壁劣化改修の上、外装薄塗材E吹付
Ⓒ	ウレタン塗膜防水(X-2工法)	高圧洗浄、クラック処理、下地処理(目地埋含む)の上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)
Ⓓ	シート防水 平場部	シート防水 塩化ビニル系 t=1.5mm S-M2(機械的固定工法)
Ⓔ	シート防水 立上り、溝部	既存シート防水撤去後、下地調整(ホリマセメント)、シート防水(笠木部除く) 塩化ビニル系 t=2.0mm S-F2(接着工法)



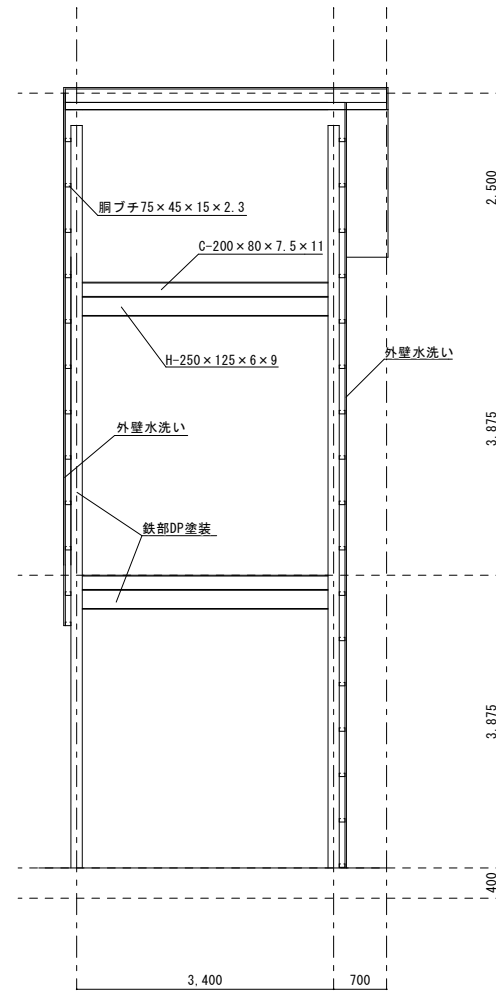
F工法詳細図 S=1/50

断面図 S:1/100

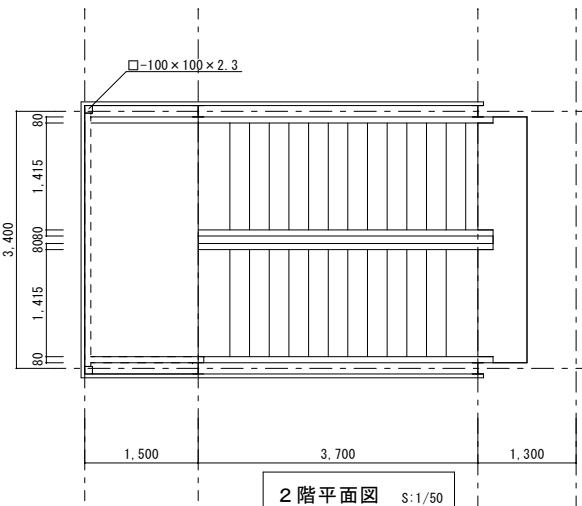
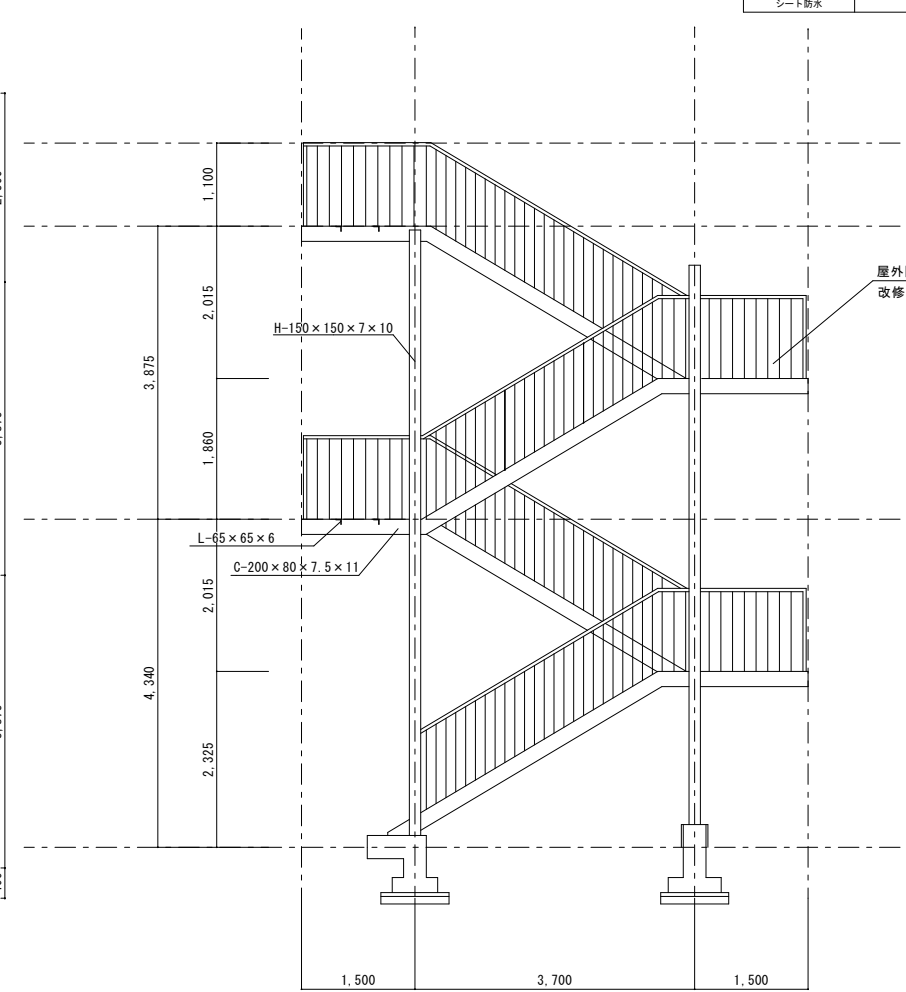
工事符号及び工事内容	記号	改修内容
外壁部		外壁劣化改修の上、複層塗材E塗(軒裏等 外装薄塗材E吹付け)(底部含む) 外部建具-躯体取合部、目地部 実成シリコン系シーリング(MS-2)打替 縦樋撤去(金具共)の上、縦樋取付 ｶﾞﾗｰVP100φ・75φ (SUS金具共)
小庇 各天端		既 存: 防水モルタル現し 改修内容: 高圧洗浄、クラック処理、下地処理(目地埋め含む)の上、ｸﾗｯｸ塗膜防水(X-2工法) ※バルコニー 防汚仕上げ
給食棟 R階 校舎棟 R階		既 存: 合成高分子ﾈｰﾌﾟﾝｼｰﾄﾞ防水 改修内容: 平場部 シｰﾄﾞ防水 塩化ビﾈｰﾙ系 t=1.5mm S-N2(機械的固定工法) 立上り、溝部 既存ｼｰﾄﾞ防水撤去後、下地調整(ｶﾞﾗｰｷﾞｯﾄﾞ) ｼｰﾄﾞ防水 塩化ビﾈｰﾙ系 t=2.0mm S-N2(接着工法) 脱気筒(SUS)、端部金物押え(7ｶﾞﾗ: L45×60×1.5 ﾘｰﾝｸﾞ 共) 7ｶﾞﾗ: 排気管、手すり支柱、PH部金物押え(7ｶﾞﾗ: L10×30×1.5 ﾘｰﾝｸﾞ 共)



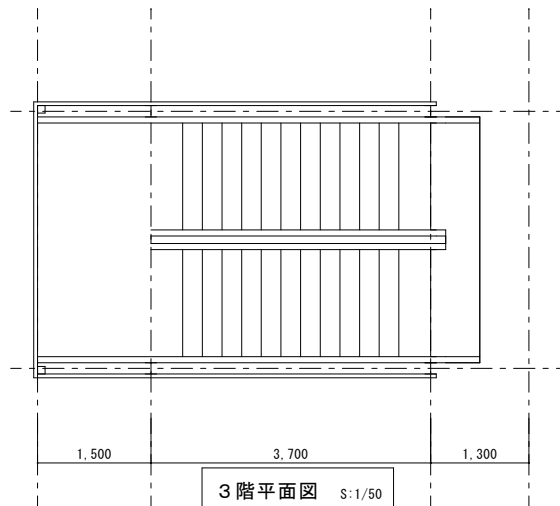
屋外階段④断面詳細図 S:1/50



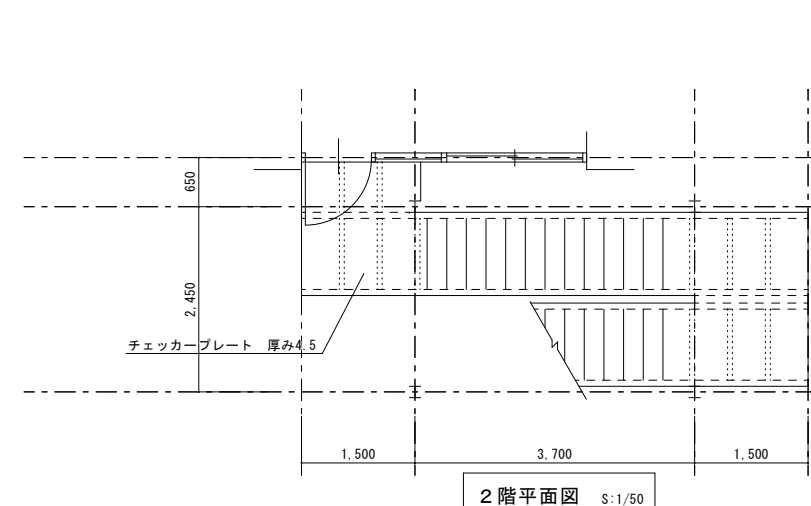
屋外階段⑤断面詳細図 S:1/50



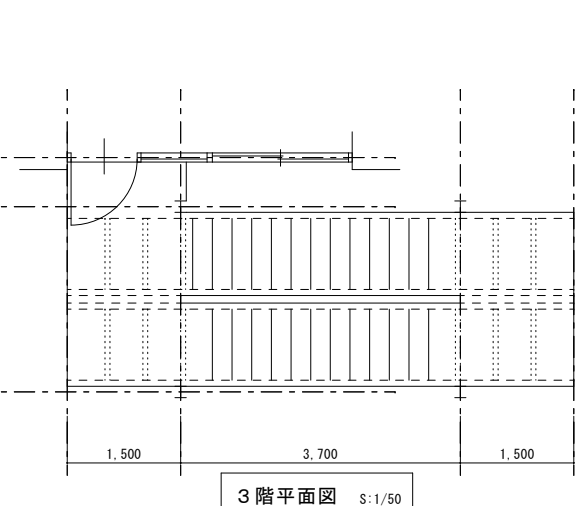
2階平面図 S:1/50



3階平面図 S:1/50



2階平面図 S:1/50

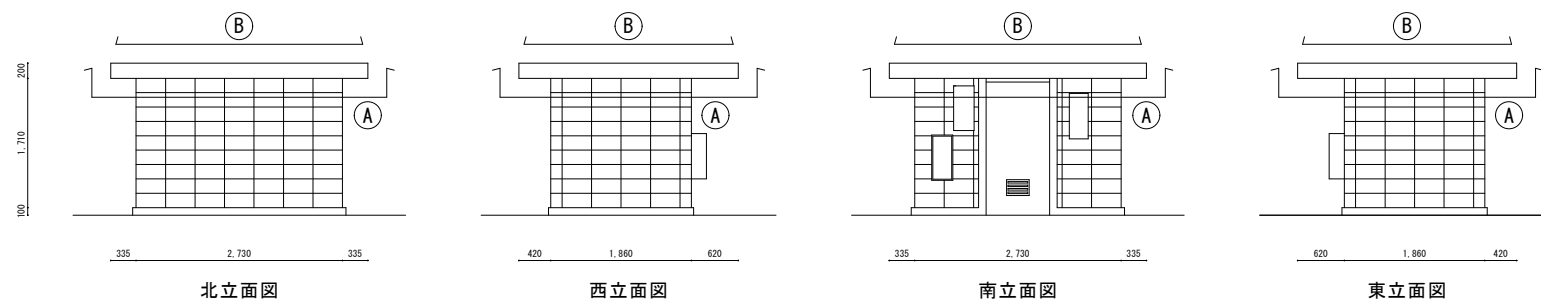


3階平面図 S:1/50

危険物庫

S:1/50

・軒裏劣化改修 ・屋上塗膜防水

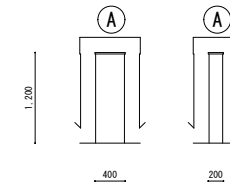


記号	改修内容
Ⓐ	劣化改修の上、外装薄塗材E吹付
Ⓑ	高圧洗浄、クラック処理、下地処理（目地埋含む）の上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)
Ⓒ	縦樋撤去(金具共)の上、縦樋取付 カラ-VP100φ・75φ(SUS金具共)

北西部門柱

S:1/50

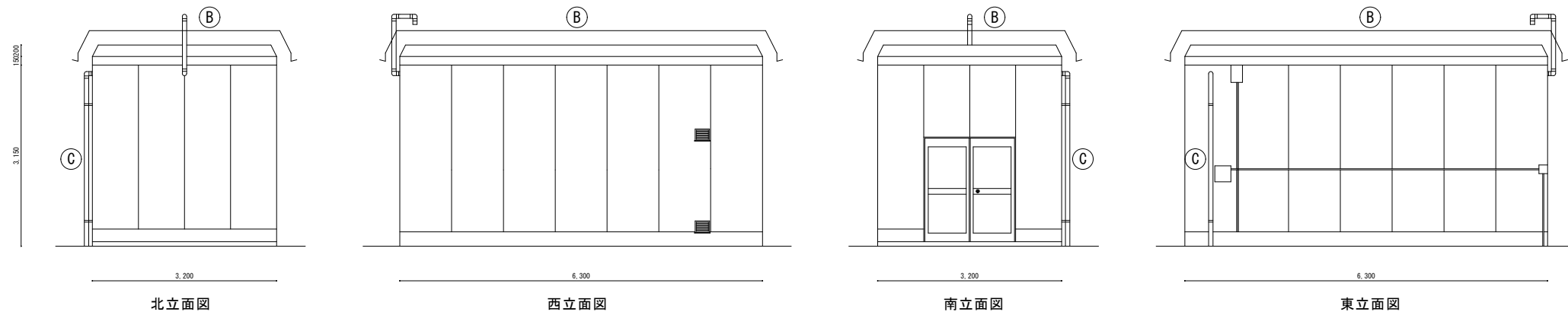
・劣化改修



ポンプ室

S:1/50

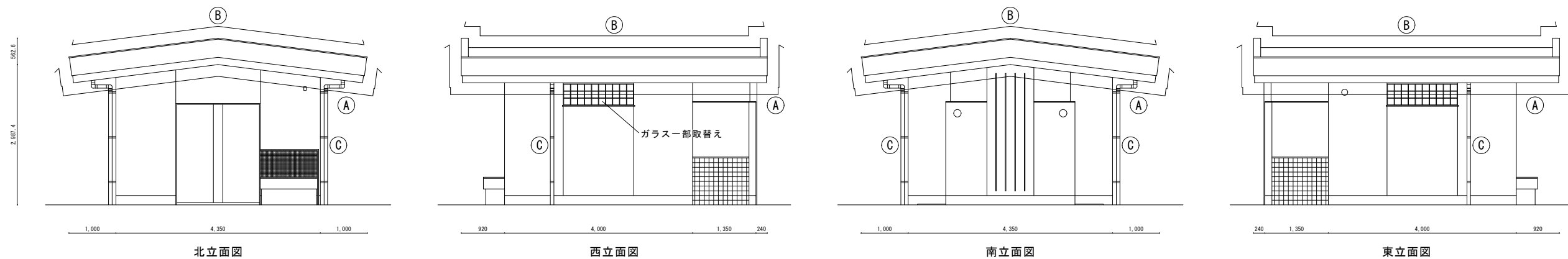
・屋上塗膜防水



便所

S:1/50

・軒裏劣化改修 ・屋上塗膜防水



福山市建設局建築部営繕課

設計 2024年 4月

工事名称 福山市立旭小学校北棟校舎外壁改修工事

図面名称 付属棟詳細図

縮尺 1:50

図面No

14

14

参考数量書

§ 工事名称 福山市立旭小学校北棟校舎外壁改修工事

§ 工事場所 福山市入船町一丁目2番1号

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款1条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

設 計 書

工事名称 福山市立旭小学校北棟校舎外壁改修工事

工事場所 福山市入船町一丁目2番1号

【工事概要】

外壁改修工事 一式

対象建物 北棟校舎
鉄筋コンクリート造 4階建
延べ面積 3,011㎡

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費	1	式		
計				

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
北棟校舎	1	式		
渡り廊下	1	式		
鉄骨階段④	1	式		
鉄骨階段⑤	1	式		
付属棟	1	式		
計				

北棟校舎									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
仮設工事			1		式				
外壁改修工事			1		式				
発生材処分			1		式				
	計								

渡り廊下									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
外壁改修工事		1		式					
	計								

鉄骨階段④									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
外壁改修工事		1		式					
計									

鉄骨階段⑤									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
外壁改修工事		1		式					
	計								

北棟校舎					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
仮設工事	直接仮設	1	式		
計					
外壁改修工事	外壁劣化改修工事	1	式		
外壁改修工事	塗装改修工事	1	式		
外壁改修工事	防水改修工事	1	式		
外壁改修工事	樋改修工事	1	式		
計					
発生材処分	発生材運搬費	1	式		
発生材処分	発生材処理費	1	式		
計					

渡り廊下					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
外壁改修工事	塗装改修工事	1	式		
計					

鉄骨階段④					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
外壁改修工事	塗装改修工事	1	式		
計					

鉄骨階段⑤					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
外壁改修工事	塗装改修工事	1	式		
計					

付属棟					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
仮設工事	直接仮設	1	式		
計					
外壁改修工事	外壁劣化改修工事	1	式		
外壁改修工事	塗装改修工事	1	式		
外壁改修工事	防水改修工事	1	式		
外壁改修工事	樋改修工事	1	式		
外壁改修工事	その他工事	1	式		
計					
発生材処分	発生材運搬費	1	式		
発生材処分	発生材処理費	1	式		
計					

北棟校舎		仮設工事		直接仮設		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生(外壁改修)		512	m ²			
開口養生	割り増し	948	m ²			
整理清掃後片付け (外壁改修)		512	m ²			
くさび緊結式足場 (手すり先行方式)	W900 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 10m未満 150日	292	m ²			
くさび緊結式足場 (手すり先行方式)	W900 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 20m未満 150日	3,309	m ²			
くさび緊結式足場	150日 底部 プラケット 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共	1,337	m			
くさび緊結式足場	150日 屋上底部 プラケット 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共	91	m			
安全手すり (手すり先行方式)	くさび緊結式足場用 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 150日	248	m			
養生シート張り	防災I類 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 150日	3,601	m ²			
金網式養生柵	掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 150日	461	m ²			
出入口安全対策	コンパネ貼り養生(3方) W3600×H3600程度	3	か所			
計						

北棟校舎		外壁改修工事			外壁劣化改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	3,510	㎡				
A-2 モルタル面表面劣化処理		102	㎡				
B-6 モルタル面Uカットシール材 注入工法	1.0mm以上 挙動 有り	116	m				
C-1 クラック部打放し面 サビ鉄筋処理		148	m				
D-1 モルタル面はつり	0.25㎡以上	5.3	㎡				
D-2 モルタル面アンカービ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25㎡以下 一般部(16カ所/㎡)	106	㎡				
D-2 モルタル面アンカービ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25㎡以下 指定部(25カ所/㎡)	81.6	㎡				
D-2 モルタル面アンカービ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25㎡以下 狭幅部(5カ所/m)	163	m				
E-3 モルタル面欠損部処理	樹脂モルタル	7.3	㎡				
F 外壁複合改修	ビニネット工法	293	㎡				
アルミ水切り取付 (材工共)	アルミ製 L-30×15×2.0 ステンレスビス@450含む	105	m				
計							

北棟校舎		外壁改修工事		防水改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	1,988	m ²			
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	1,988	m ²			
高圧水洗浄	防水改修 水洗い 高圧水洗機 加圧力15MPa程度(150~200kg/cm ²)	2,000	m ²			
ケレン・清掃	防水面 ケレン・清掃	1	式			
改修用ルフトレン (トーム型)	75φ 縦型 材工共	24	か所			
下地調整	下地処理・クラック処理	1	式			
ウレタンゴム系 塗膜防水	X-2 平面	9.3	m ²			
ウレタンゴム系 塗膜防水	X-2 平面 防滑仕上げ 渡り廊下	279	m ²			
ウレタンゴム系 塗膜防水	X-2 立上 小庇・狹隘部含む	197	m ²			
ウレタンゴム系 塗膜防水	X-2 笠木・手摺天端	61	m			
端部金物撤去		1	式			
既存防水層撤去	屋上防水層 シート防水層 集積共	366	m ²			
ケレン	立上部、溝部	366	m ²			
下地調整 改修仕様 (シート防水)	ポリマーセメントペースト	1,502	m ²			
合成高分子系ルフィ ンクシート防水 (S-F2)	接着工法(S-F2) t2.0 材工共	366	m ²			
合成高分子系ルフィ ンクシート防水 (S-M2)	機械的固定工法(S-M2) t1.5 材工共	1,136	m ²			
防水押えアルミアンクル (材工共)	L-45*60*1.5 ジョイント、ビス含む シーリング共	278	m			
EXP. J 撤去復旧		1	式			
SUS脱気筒	材工共	15	か所			
シーリング撤去	集積共 アスベスト含有	2,026	m			

北棟校舎		外壁改修工事		防水改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
シーリング	変成シリコン(2成分形)MS-2 15×10 建具周囲	2,026	m			
計						

北棟校舎		外壁改修工事		樋改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
たてどい撤去	VP管 集積共 金具共	267	m			
硬質ポリ塩化ビニル管とい(カラー)	径75 SUS金具共	267	m			
計						

北棟校舎		発生材処分	発生材運搬費			
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
建設発生材運搬費	一般	0.6	t			
建設発生材運搬費	廃プラ	0.8	t			
建設発生材運搬費	CON ^ラ	3	m3			
発生材運搬費	石綿含有産業廃棄物	1	式			
計						

北棟校舎		発生材処分		発生材処理費		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
建設廃材処理費	一般	0.6	t			
建設廃材処理費	廃プラ	0.8	t			
建設廃材処理費	CON ^ホ ラ	3	m3			
発生材処理費	石綿含有産業廃棄物	0.1	t			
計						

渡り廊下		外壁改修工事			塗装改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
DP塗り	鉄鋼面 3級 B種 下地調整RB種 下塗り(錆止)共	46	m ²				
計							

付属棟		仮設工事		直接仮設		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
移動足場 (ローリングタワ-	W=1.5m 1段 期間1ヶ月	2	台			
計						

付属棟		外壁改修工事		外壁劣化改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	33.2	㎡			
計						

付属棟						
			外壁改修工事		塗装改修工事	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
高圧水洗浄	外壁塗装改修 水洗い 高圧水洗機 加圧力15Mpa程度(150~200kg/cm2)	33.2	m ²			
外装薄塗材 E	コンクリート面 砂壁状 吹付け 下地調整費(C-1)共	33.2	m ²			
計						

付属棟		外壁改修工事			樋改修工事	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
たてどい撤去	VP管 集積共 金具共	8.4	m			
硬質ポリ塩化ビニル管とい(カー)	径75 SUS金具共	8.4	m			
計						

付属棟	外壁改修工事				その他工事	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ガラス撤去新設		1	式			
計						

付属棟		発生材処分			発生材処理費	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
建設廃材処理費	廃ブラ	0.1	t			
計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮囲い	鋼製 H2.0 設置・撤去・賃料・基本料・運搬費 含む 5か月	16	m			
荷揚げ費	ラフレックレン 16t吊り ホール付	1	式			
工事中情報共有 システム利用料		1	式			
計						